

ながった幼稚園様バードピア認定地 野鳥調査報告

2023.2.4

太平電機株式会社
ECOひいきプロジェクト
代表取締役社長
樋口公平



エナガ 雑木林で確認種

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム
私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



この資料はCO2を発生しない電力で作製しました。



太平電機株式会社 ECOひいきプロジェクト

調査時使用したもの

- 自動車1台 . . . 現地訪問用
- 望遠鏡 . . . 20倍
- 三脚 . . .
- カメラ . . . 500mm一眼レフ
- 双眼鏡 . . . 8倍
- 記録用紙
- 筆記具、携帯電話、飲み物持参。



裏山エリアの野鳥 ラインセンサス調査

- 【日時】 2023.2.4 8:46～9:05 19分
- 【場所】 駐車場から裏山に上り頂上まで行き、同じ山道を引き返すコース。
- 【コース】 駐車場→登り口→きり坂→ち坂→さくら坂→もみじ坂→すぎ坂→どんぐり広場→逆コースを下る(下りは上りに記録ない種のみ)
- 【調査法】 ラインセンサス法→時速1キロ程度の徒歩、前左右上空に出現する野鳥の姿と声を確認し種類と数を記録。
- 冬枯れの雑木林となっていた。



林の道に落ち葉がつもっていた。シジュウカラが落ち葉の地面で採食

ビオトープエリア 定点調査

- エリア内に立ち、いる野鳥、飛来する野鳥の種類、行動を声、姿を確認し記録した。
- 2023.2.4 9:36～10:46 70分 井戸側に立ち調査。(数は記録しない)
- 双眼鏡、望遠鏡、カメラを使用し野鳥の種類と行動を調査
- 餌台が設置されていた。



調査定点

調査結果 一覧表

日付	鳥類目録7版順		2023.2.04						
累計種数	科	園敷地内確認種	裏山エリア	裏山センサス確認数	ビオトープエリア	留/夏/冬	主な利用	環境省RL	神奈川県RL
1	ハト科	キジバト	○	1	○	留鳥	林		
2	タカ科	ツミ			○	留鳥	林上空		絶滅危惧Ⅱ類
3	キツツキ科	コゲラ	○	2		留鳥	林		
4	カラス科	ハシボンガラス	○	2		留鳥	林		
5	カラス科	ハシブトガラス	○	2	○	留鳥	住宅地		
6	シジュウカラ科	シジュウカラ	○	4	○	留鳥	林内/餌台		
7	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	9	○	留鳥旅鳥	林		
8	ウグイス科	ウグイス			○	留鳥	林床		
9	エナガ科	エナガ	○	2		留鳥	林		
10	メジロ科	メジロ	○	9	○	留鳥	林		
11	スズメ科	スズメ			○	留鳥	ビオ域		
12	セキレイ科	ハクセキレイ	○	1		留鳥	駐車場		
合計	11	12	9	32	8				
外来種	チメドリ科	ガビチョウ	○	1	○	留鳥	林		

【考察】 裏山9種 32羽 ビオトープ域8種類

全域合計12種類

調査後の報告 裏山のラインセンサス調査考察

【考察】

- 裏山では**9種**が確認できた。これは**過去最高種数**
- **全種合計32羽**で、これも**過去最高記録羽数**
- 初記録はエナガ、コゲラ。いずれも雑木林を主な環境とする種
- 冬の特徴である「混群」が見られた。最大でメジロ15羽、シジュウカラ5羽、コゲラ1羽、エナガ2羽が1つの混群を形成していた
- シジュウカラは初さえずりを確認した。繁殖期の兆候。落ち葉の地面で採食していた
- ヒヨドリも林内、周辺で多く確認。
- エナガは林内の木々を移りながら採食。また巣材を集めていた。繁殖の可能性がある。
- メジロは木々を移りながら葉についている何かを啄んでいた

この雑木林では、野鳥の混群が形成され、餌をとりながら生息できていて、開発が進む周辺の都市環境の中で野鳥の重要な冬季の生息地となっている。

種ごとの解説 エナガ

- 一年中みられる留鳥
- 森林性の野鳥で林に生息します。
- ジュリリリと鳴きます。
- 13.5cm 尾が長く、尾を柄に見立て「柄長」が名前の由来です。
- 林の木の又などに苔や鳥の羽を使い巣を作ります。
- 繁殖は他の野鳥より早く、二月は巣作りの時期であり、**今回羽毛を運ぶエナガを確認**しました。これは繁殖行動の記録となります。
- 冬にはカラ類やメジロ、コゲラなどと混群を作ります。今回確認することができました。

★ながった幼稚園の価値

森林性の野鳥であるエナガが越冬をし、繁殖行動ができています。大都市圏では貴重な環境を維持していると言えます。



林の中で、巣材の鳥の羽を啜るエナガ

種ごとの解説 コゲラ

- 留鳥
- 15cmスズメ大のキツツキの仲間です。
- 背中に白黒の縞模様があります
- 林に生息します。
- 枯れ木の中のカミキリムシの幼虫などを食べます
- キーツキキキと鳴いたり、コツコツと木を叩くドラミングをします。
- 枯れ木や枯れ枝に穴を掘り巣をつくります。

★ながつた幼稚園では安全な場所に枯れ枝や枯れ木があり、それらが巣として利用される可能性があります。



調査後の報告 ビオトープエリア定点調査考察

- ビオトープ域では合計8種が確認できた。これは過去最高
- 初記録はツミとスズメでした。
- **ウグイス**は前回12月に続けて確認。林床のアズマネザサの中で地鳴きしていた。ここで**越冬**している。
- シジュウカラはヒマワリの餌台に集まっていたが、12月より極端にすくなかった。
- ビオトープの直接の利用(水飲み、水浴び)する野鳥は見られなかった。
- **ツミ♀**が飛来。西の林上空に現れ、ビオトープエリアを超え東に移動していった。撮影はできず。**神奈川県レッドデータ絶滅危惧Ⅱ類**

ツミが出現した空間



太平電機株式会社 ECOひいきプロジェクト

9

ウグイスが潜む



種ごとの解説 ツミ

- 神奈川では留鳥
- ♀は30cm ♂は27cm小型のタカの仲間です。
- 林に生息し、小鳥などを捕ります
- 林内で繁殖します。
- 神奈川県レッドデータ絶滅危惧Ⅱ類
- 雑木林の生態系の頂点の生き物です。昆虫類を食べる野鳥が多くいることで、ツミが暮らせます。ながった幼稚園の雑木林だけでなく、近隣の複数の雑木林を縄張りにしていると考えられます。



ツミ 別の場所で撮影した写真です